

プログラム

はじめに
マザーシップ代表 井上裕子



デリバリーズ
○アンパンマンのマーチ
○負けないで



黒木 真

ラジオから偶然流れた
シャンソン歌手バルバラの
歌に感動し、東京音大に入学。
30代でゴスペル歌手 亀渕友香氏
に師事。ピアニスト
兼アレンジャーとして
約10年間コンサ
ート、イベント、
テレビなどで
演奏活動。
現在フリー。



Shin Lab.

指揮：黒木 真

- Seasons Of Love
- This Little Light Of Mine
- 手のひらを太陽に 他



江戸街道沿いの
『cafe こもれば家』。ゴスペル
クワイア「Shine lab.」のメンバー、
しゅんが親子で営むカフェである。
店内に貼ってあるゴスペルの写真をご覧に
なった井上院長先生が、『病院でのコンサート
開催』という素敵なお話をくださった。
そのお話を、しゅんのゴスペルの指導者である
黒木真先生にお伝えするお約束をした直後、
その黒木真先生がご来店。その夜、話は
大いに盛り上がり、コンサートの企画
開催に至るのであった。

ゴスペルとは
奴隷としてアメリカ大陸に連行されたアフリカ人
たちのリズムや伝統と、ヨーロッパの賛美歌などが
融合して現在のゴスペルの基礎が生まれました。
あきらめずに前を向いて生きることを後押ししてくれるような魂の歌声を、
今回はみんなが知っている歌をゴスペル調にアレンジしてお聞かせします。

This Little Light Of Mine

This little light of mine/ I'm gonna let it shine/ This little light of mine/ I'm gonna let it shine/ This little light of mine/ I'm gonna let it shine/ Let it shine/ Let it shine/ Let it shine/	でいすりるらいおんまいん/ あいむごなれりっしやいん/ でいすりるらいおんまいん/ あいむごなれりっしやいん/ でいすりるらいおんまいん/ あいむごなれりっしやいん/ れりっしやいん/ れりっしやいん/ れりっしやいん/
--	--

手のひらを太陽に

[1]
ぼくらはみんな生きている。 生きているから歌うんだ。
ぼくらはみんな生きている。 生きているから悲しいんだ。
手のひらを太陽に透かしてみれば、まっかに流れるぼくの血しお。
みみずだっておけらだっであめんぼだっで、
みんなみんな生きているんだ、友達なんだ。

[2]
ぼくらはみんな生きている。 生きているから笑うんだ。
ぼくらはみんな生きている。 生きているからうれしいんだ。
手のひらを太陽に透かしてみれば、まっかに流れるぼくの血しお。
とんぼだっでかえるだっでみつばちだっで、
みんなみんな生きているんだ、友達なんだ。

[3]
ぼくらはみんな生きている。 生きているから踊るんだ。
ぼくらはみんな生きている。 生きているから愛するんだ。
手のひらを太陽に透かしてみれば、まっかに流れるぼくの血しお。
すずめだっでいなごだっでかげろうだっで、
みんなみんな生きているんだ、友達なんだ。

第50回マザーシップイベントによるこそおいで下さいました。
今日は「ひだまりコンサート」を企画しました。ぜひ心に響くゴスペルを
楽しんで下さい。ゴスペルは鎮魂の歌声です。地元で知り合いになった
「こもれび家」の店長しゅん君のお仲間がゲストです。

3月11日、あの日から70日が過ぎました。東日本大震災、大きな地震、
想定外の津波、福島原発事故。ここに無事で集える事に感謝。東京も
まだまだ余震に怯える瞬間がありますね。あの日は診療でした。幸い医療機器
や建物の大きな損壊はなかったのですが、その後の計画停電や、トイレト
ペーパーや生理パットが買えない、ガソリンスタンドの行列などの社会生活の
混乱は記憶に新しいですね。一生懸命節電を实践し、お産をやっていく
産婦人科施設として、想定できる多くの危機管理に知恵を絞りました。
幸い大地震の夜、こうのとりは飛んできませんでした。余震の続く病院で祈り
ました。今夜は生まれられない方がいいよ！テレビで報道される東北の光景は
どれも心が痛むものばかりでした。あの日もきっと、岩手や宮城や福島では
停電の中、誰かがきくと生まれたと思います。日本中の人々が祈っていたと
思います。私の分娩室では、以前にもまして、生まれた時のスタッフの喜び
安堵の音が聞こえます。生死を身近に感じた瞬間に、人は何かを感じ、考え
ますね。原発の事故で電気の供給が減少すれば私たちの生活は見直しをせねば
なりません。「がんばろう日本」「絆」のキャッチフレーズにそれぞれが思う事
は本当は同じだと思います。でも少子高齢化のこの国に与えられた天災という
危機。今日も日本のどこかで生まれてくる赤ちゃんの産声と、過酷な避難生活
でも笑顔を見せる子供達の為に、今できることを精一杯やっていきたいと
思います。

生まれる現場からデリバリーズは素敵な歌を届けます。アンパンマンの作者の
やなせたかしさんは戦争体験者です。テーマは愛と正義と勇気。
「何の為に生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ
今を生きることで 熱いところ燃える だから君はいくんだ微笑んで そうだ
嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも」 赤チャンマンはみんなを
笑わせるという1番強いパワーがあります。そのパワーで私達は頑張れます。
「ひだまり」という言葉が好きです。みんなで祈りましょう、今回被災された
多くの家族や関係者の方々の鎮魂と、これから生まれ育つ子供たちの未来と、
今日ここの「縁」あって集えた人の生きとし生きていられた事を。
どんなに離れていても 心は側にいるね 感じてね 見つめる瞳 負けないで……

マザーシップ代表 コウノトリ裕子



エイズへの理解を深めるレッドリボン
子育て支援（児童虐待防止）のオレンジリボン
乳がん検診啓発のピンクリボン
子宮頸がん健診啓発のティール&初トリボン
マザーシップは4色のリボンを応援します。

NPO 法人 MOTHER SHIP
190-0013 東京都立川市富士見町 1-26-9 井上レディースクリニック内
代表 井上裕子（井上レディースクリニック 院長）
TEL&FAX 042-527-1454 concert@m-ship.net <http://www.m-ship.net/>

第50回マザーシップチャリティーイベント

人と人の絆をつなぐ・・・・・・ 心に響く音楽・・・

ひだまりコンサート



クリニックに
毎年里帰りをするつばめ



ふくろう親子のオブジェ

ゴスペルクワイヤ
【Shin Lab.】
と
井上スタッフ
【デリバリーズ】

3月11日の東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
心のままに歌って元気になろう・・・の願いを込めて皆で歌いましょう。

参加費：1家族 500円

院内のオブジェ



いただいた参加費の中から
一部を東日本大震災の義援金に寄付いたします。
また、一部をピンクリボン活動団体へ寄付いたします。

2011年5月29日（日）
13:30~15:30

井上レディースクリニック ロビー